学校番号	308

平成 31 年度　国語科

教科	国語	科目	国語総合 （古典分野）	単位数	３単位	年次	１年次
使用教科書	新探求国語総合　古典編（桐原書店）						
副教材等	改訂増補版　最新国語便覧（浜島書店）、体系古典文法八訂版（数研出版）、 体系古典文法　学習ノート改訂版（数研出版）、漢文学習必携三訂版(京都書房) さくらさく古文単語（浜島書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・本文、口語訳、重要語句の意味、文法事項を整理して、理解しやすいノート作りをしましょう。
・繰り返し音読して古文、漢文のリズムに慣れましょう。
・古典文法テキスト、古語辞書を使いこなして読解に役立てることができるようになりましょう。
・古典文法や漢文のきまりを理解し、身につけ、書かれている内容が読めるようにしましょう。
・教科書の文章を中心に古文、漢文を味わって読む姿勢を大事にしましょう。
・国語便覧や、インターネットを頻繁に利用し、わからないことを自分でまず調べましょう。

2　学習の到達目標

・古典を学ぶ意義を知り、様々な文章の内容や形態に応じた表現の特色を理解する。
・古典読解のために、古文単語、古典文法（主に用言と助動詞）、漢文の語句、句法について学習し、文章を読解できるようになる。
・作品の歴史的背景を把握し、ものの見方や考え方を広げる。
・国語便覧やインターネットにより、古典の世界、自然の風物などを広く知っていく。
・音読・暗唱などにより言葉の美しさを味わう。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:読む能力	d:知識・理解
観点の趣旨	古典作品を通して、伝統的な言語文化への興味･関心を広げようとする。		文章の意味を的確に読み取り、登場人物の心情や、話のおもしろさを理解する。	古典の理解に必要な文法の知識、語彙力を身につけて、読解に役立てる。 古典常識、文学史を学び、幅広い知識を身につける。
評価方法	授業態度の観察、提出物、小テスト、定期考査など		授業態度の観察、提出物、小テスト、定期考査など	授業態度の観察、提出物、小テスト、定期考査など

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に国語総合Ａ（現代文）と総合して５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	a	b	c	d	単元(題材)の評価規準	評価方法
一中間	古文入門	『宇治拾遺物語』 「児のそら寝」 「検非違使忠明のこと」	○		○	○	a:古文を学ぶ姿勢を持とうしている。 c:単語を意識しながら本文の内容を理解している。 d:仮名遣いの違いを理解している。	授業態度の観察、提出物、定期考査
	随想と日記	『徒然草』 「つれづれなるままに」 「ある人弓射ることを習ふに」	○		○	○	a:内容を読み取ろうと努力している。 c:作者のものの見方を注意して、本文の内容を理解している。 d:文法（動詞、助動詞）を理解している。古語辞書が引けて単語を調べることができる。	授業態度の観察、提出物、定期考査
	漢文入門	漢文入門 「漢文の基礎」	○		○	○	a:漢文を学ぶ意義を理解している。 c:漢文の単文を書き下し文にでき、日本語に直せる。 d:漢文の基本的な構造、再読文字、返読文字、置き字、返り点、送り仮名のつけ方について理解している。	授業態度の観察、提出物、定期考査
一期末	説話と随筆と日記	『十訓抄』 「大江山」 『徒然草』 「つれづれなるままに」「丹波に出雲といふ所あり」 『土佐日記』 「門出」	○		○	○	a:様々なジャンルの文章について関心を高めている。 c:和歌、重要単語を中心に本文を理解している。 d:文法（動詞・形容詞・形容動詞）、係り結びについて理解している。	授業態度の観察、提出物、定期考査
	漢文入門	『推敲』 『塞翁馬』	○		○	○	a:漢文を学ぶ意義を理解している。 c:本文を通して故事成語の成り立ちを理解している。 d:漢文の基本的な句形、否定形、反語形について理解している。	授業態度の観察、提出物、定期考査
	詩文	「絶句」(杜甫) 「送友人」(李白)	○		○	○	a:漢詩に親しみ、理解をしようとしている。 c:詩の内容を理解している。 d:絶句・律詩など漢詩の形式や表現について理解している。	授業態度の観察、提出物、定期考査
二中間	物語と軍記	『竹取物語』 「なよ竹のかぐや姫」 『伊勢物語』 「芥川」 「筒井筒」	○		○	○	a:物語について関心を高めている。 c:文章の内容を理解している。 d:文学史的意義、文法（助動詞）について理解している。	授業態度の観察、提出物、定期考査

	随筆と日記	『徒然草』 「花は盛りに」	○			○	a:随筆への興味・関心を高めている。 d:文法（助動詞・助詞）を理解している。	授業態度の観察、提出物、定期考査
	漢文入門	「朝三暮四」	○		○	○	a:漢文を学ぶ意義を理解している。 c:本文を通して故事成語の成り立ちを理解している。 d:漢文の基本的な疑問の句形、再読文字、置き字について理解している。	授業態度の観察、提出物、定期考査
二期末	和歌と俳諧	『奥の細道』 「旅こそ栖」 「平泉懐古」	○		○	○	a:近世文学への関心を高めている。 c:俳文に描かれた情景や心情を理解している。 d:俳諧の文学史的位置づけについて理解している。俳諧の修辞・季語について理解している。	授業態度の観察、提出物、定期考査
	物語と軍記	『平家物語』 「祇園精舎」	○		○	○	a:軍記物語への興味関心を高めている。 c:登場人物の行動と心情を読み取りながら、内容を理解している。 d:敬語や音便について理解している。「平家物語」が後世の文化や芸能に与えた影響について理解している。	授業態度の観察、提出物、定期考査
	文章	「雑説」	○		○	○	a:寓意を込めた文章について興味関心を高めている。 c:寓意も含めて話の内容が理解できる。 d:重要な句法や助字を理解している。	授業態度の観察、提出物、定期考査
学年末	物語と軍記	『平家物語』 「木曽の最後」	○		○	○	a:軍記物語への興味関心を高めている。 c:登場人物の行動と心情を読み取りながら、内容を理解している。 d:敬語や音便について理解している。	授業態度の観察、提出物、定期考査
	和歌と俳諧	和歌の修辞 『万葉集』 『古今和歌集』	○		○	○	a:和歌への興味・関心を高めている。 c:それぞれの和歌に詠まれた内容を理解している。 d:和歌の修辞を理解している。	授業態度の観察、提出物、定期考査
	史伝	「鶏口牛後」 「鶏鳴狗盗」	○		○	○	a:『十八史略』について興味関心を高めている。 c:『十八史略』が今も読み続けられる理由を考えながら、内容を理解している。 史伝から成立した故事成語の意味が理解できる。 d:重要な句法や助字を理解している。	授業態度の観察、提出物、定期考査

	思想	『論語』 『孟子』	○		○	○	a:中国の思想について興味関心を高めている。 c:『論語』『孟子』が経書として尊重され、今も読み続けられる理由を考えながら、内容を理解している。 d:重要な句法や助字を理解している。	授業態度の観察、提出物、定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:話す・聞く力
　　c:読む能力　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。